

# グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール [shikoku\\_soumu@maff.go.jp](mailto:shikoku_soumu@maff.go.jp)



No.1150 2016年1月号

# 迎春



夜明峠と瓶ヶ森

# 新年のあいさつ

四国森林管理局長 大山 誠一郎



本格的な利用期を迎えています。

る森林資源を循環利用しつ

つ、新たな木材需要の創出

や国産材の安定的・効率的

な供給体制を構築し、林業

の成長産業化を図ることが

重要な課題となつていま

す。また、若年人口の減少

が問題となつている地域の

多くが中山間地域に位置し

ているため、これらの地域

に豊富に存在する森林資源

を活用して地域の主要な産

業である林業の振興を通じ

て地域経済の活性化と定住

の促進を図ることが必要で

四国は、その面積の四分

の三が森林で、人工林の割

合も六割に上るなど、全国

に比べても豊かな森林資源

に恵まれており、伐採期を

迎えた森林も増えてきてい

ます。このため、林業の成

長産業化とこれによる地域

の活性化、地方創生を図る

ことは、四国においてより

重要な課題です。

このような中、四国で

は、大型製材工場や木質バ

イオマス発電所の本格稼

働、産官学によるCLTの

開発普及への積極的な取  
組みなど、森林資源の利用  
や林業の振興につながる  
動きが活発になつてきて  
います。

四国森林管理局として

も、四国の森林の一分を占

める国有林の適切な管理

運営等を通じて、四国林

業の振興と地域の活性化

に資するよう、本年の業務

運営に取り組んでまいり

ます。

具体的には、急峻な地形

の中でどのようにして一層

のコスト低減を図ることが

できるか検討し、低コスト

で効率的な施業方式を積極

的に採り入れるなどによ

り、低コストな木材生産を

進めるとともに、いわゆる

システム販売を通じて需要  
者のニーズに即して安定的  
な木材供給に努めてまいり  
ます。また、先進的な技術  
の開発普及や森林・林業経

営を担う人材育成に取り組

んでまいります。さらに大

きな問題となつているニホ

ンジカなどの鳥獣害対策に

関係者と協力して取り組む

とともに、山地災害リスク

の高い四国の特性を踏ま

え、被害の未然防止に努め

てまいります。

本年が森林・林業・木材

産業関係の皆様にとつて飛

躍の年となりますよう祈念

申し上げて、新年のごあい

さつといたします。

森林・林業については、

ていいでしょう。

成長軌道を確認なものとな

ることで、地方創生といっ

ていいでしょう。

は、人口減少社会へと向か

う中で、地方においても経

済回復を実感できるように

うございます。

新年あけましておめでと

うございます。

現下の我が国の重要課題

は、人口減少社会へと向か

う中で、地方においても経

済回復を実感できるように

うございます。

新年あけましておめでと

うございます。

現下の我が国の重要課題

は、人口減少社会へと向か

う中で、地方においても経

済回復を実感できるように

うございます。

新年あけましておめでと

うございます。

# 「国有林モニター勉強会」を開催

〈企画調整課〉



一月二七日に第二回国有林モニター勉強会を開催しました。当日は、好天にも恵まれ、四国四県から国有林モニター一四名が参加しました。

この勉強会は、森林整備、治山事業、木材利用等の一連の国有林の業務に対する理解を深めることを目的として二回に分け開催されているものです。



国有林モニター勉強会への参加者の皆様と  
(高知県四万十町役場において)

一回目の七月は、森林管理局が施工している民有林の大規模地すべり治山事業

や木材利用の取組を紹介しました。

箇所とつり橋の掛け替え資材を提供している祖谷のかずら橋の見学を行い、国土保全と木の文化を支える取組について理解を深めていただきました。

最初の見学地である高知県四万十町の大怒田山(おぬたやま)国有林では、間伐事業実施箇所での伐倒作業や高性能林業機械(ハーベスタ)の造材等を見学しました。

二回目の今回は、間伐事業の現地等に赴き森林整備

次の訪問地である四万十町役場庁舎では、公共建築物の木造化の推進、地元木材利

用の取組等について理解を深めていただきました。

参加したモニターの方々から、「現場作業の流れを実際に見て、感じる事ができました。」「私たちの知らない所で国有林の管理がきちんとなされていることを知った。」等の感想をいただきました。大変有意義な勉強会となりました。

## 3Dレーザースキャナ検討会

〈資源活用課〉



国有林事業でICT(情報通信技術)の活用に向け、各森林管理局で実用化試験が進められている中、当森林管理局においても一月二七日、四万十森林

管理署中川内山国有林において、高知県や県内の各森林組合及び各森林管理署等から関係者約九〇名が参加し、地上型3Dレーザースキャナによる森林調査の実地計測及び検討会を開催しました。

地上型3Dレーザースキャナによる森林調査は、

間伐事業実施箇所での勉強会の様子



3Dレーザースキャナで森林を計測し、そのデータを自動解析することで、立木情報や胸高直径、樹高や地形情報を取得することができます。

今回の検討会は、中川内山国有林四〇〇五林班い1小班一・二七haのうち、〇・一六haを計測地に設定し、

同レーザーの設置や調整及び計測方法や計測時間などの集計測を実施しました。



3Dレーザースキャナ計測の様子

また、従来の人手によるコンパス測量や毎木調査と、

地上型3Dレーザースキャナの計測手法との作業工程ごとの比較を行った結果、区域測量・区域表示では、約

〇・五人の労力削減となり、毎木調査では約二・一人の労力削減となりました。

参加者からは、立木の配置統合の際に生じた位置の誤差修正の方法や立木の形状による胸高直径の誤差等についての質問がありました。

また、現在取り組んでいる樹種判別システムについては、杉・桧だけでなくカラ松など他樹種の識別も可能になるよう要望がありました。

林業や木材産業の技術革新が進む中、レーザース

3Dレーザースキャナ検討会の様子



キャナによる調査は画期的な技術として注目され、国有林の収穫調査だけでなく、民有林施業の集約化や木材取引の拡大にも大いに貢献するものであり、当森林管理局としてもフィールドの提供やデータ分析の助言等、関係機関と連携し取り組んでいくことを確認し、検討会を終了しました。

## 技術開発課題に貴重な意見 「平成二七年度第二回技術開発委員会」を開催

〈森林技術・支援センター〉



一二月一五日、四国森林管理局二階会議室において、第二回技術開発委員会を開催しました。

当委員会は、四国森林管

理局技術開発委員会運営要

綱に基づき、技術開発の計画・評価・方法等について意見を聴くもので、森林生態学、林木育種、遺伝資源、

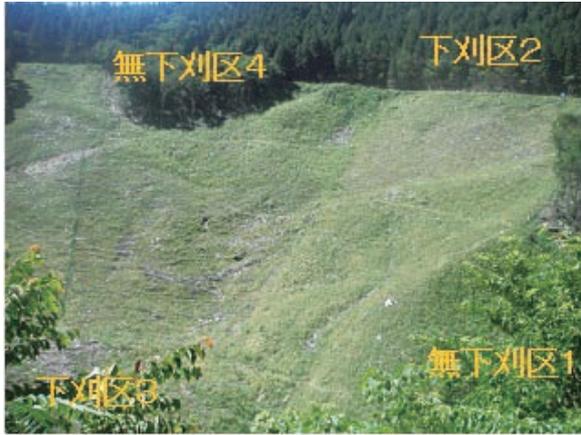
森林管理経営等の専門家の委員で構成されています。

今回は、平成二七年度中に実施した技術開発課題の内、完了報告一課題「下刈省略化によるシカ食害低減効果の検証」(一年の開発期間延長提案)と、平成二八年度新規課題(案)「再造林地でのシカ削減効果な

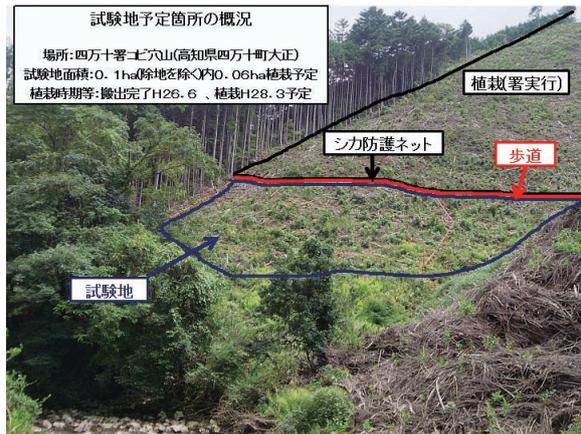


第二回技術開発委員会

シカ食害低減効果検証試験地



H28新規課題試験予定地



試験地予定箇所の概況  
 場所: 四万十町七ヶ山(高知県四万十町大正)  
 試験地面積: 0.1ha(除地を除く)内0.06ha植栽予定  
 植栽時期等: 搬出完了H28.6、植栽H28.3予定

どの被害防護対策を軽減できる条件の検証」の計二課題について、審議をいただき意見を伺いました。

委員から、「下刈省力化によるシカ食害低減効果の検証」については、①下層

植生やシカ食害状況の長期調査を要することから、最低でも下刈が終了する期間

新規課題「再造林地でのシカ削減効果など被害防護対策を軽減できる条件の検

出されました。

度、調査はカメラ撮影情報で把握可能である。③シカ捕獲は簡単ではないことから、熟練者等の知識・技術も取り入れながら調査を実施すること等、各課題に対し様々な意見が出されました。

今回頂きましたこれらの貴重な意見を踏まえて、今後の試験設定のあり方など技術開発・普及支援に活かして行くこととします。

います。

で三回目となります。

きをクイズ形式で実施しま

一月二日第九回西分文化祭が開催され当森林管理局も雛人形の展示と森林教室や木のおもちやで遊ぶというテーマで参加しました。

文化祭への参加は、高知市春野町西分公民館から、公民館が行っている地域活性化、交流健康寿命延伸活動の一環として森林木工教室の要請があつて引き受けたのが始まりで、五月、九月に続き、今回

当日は、二三名(内子供二名)の参加がありました。森林教室では、森林の働きをクイズ形式で実施しま



皆様  
 むし検を楽しむ地域住民の

**第九回西分文化祭**  
**(春野町西分公民館)に参加**

〔技術普及課〕

した。高知県の森林率について、全員が正解でしたが、「森林のない山のほうが、水を貯える力がある」「全ての木は寒くなると紅葉する」など誤って理解している方が多数いました。二〇一六年のカレンダーを差し上げ、八月一日の「山の日」のPRも合わせて行いました。

また「竹はどの仲間」では、皆さん相当頭を悩ませていました。全問正解者はいません、用意した一二種類のカード全てゲットし喜んで帰っていきました。また、他の木製のオモチャ（輪投げ、羽子板けん玉など）も人気でそれぞれ楽しんでいました。



これまでの木工教室で地域の方が作製した作品の展示（鯉のぼり、お雛様）

次に「木のオモチャ」で遊ぶうでは、むし剣（簡単なけん玉）やビンゴゲーム、ゴム鉄砲で遊んでもらい参加者には、カードやジーゼミやケロケロカエルをプレゼント

製の作品（オモチャ外）の展示と、またそれを実際に手で持って遊ぶといったことで木の温もりや手触りの良さ等「木」のPRになります。

## 図書館で少し早いクリスマス

〈技術普及課〉



一二月一二日、高知県日高村日高村立図書館において、児童一六名、職員三名、図書館ボランティア五名の計二四名の参加で、森林木工教室を行いました。

当日は、図書館のボランティアの方によるクリスマスにまつわる紙芝居や、本の読み聞かせから始まりました。

その後、当森林管理局の森林木工教室を実施しました。まず、水・川をメインに「日高村の川について」や「森林の働き」についてクイズ方式で森林教室を行いました。子供たちは地元



森林教室

の川について、何処から流れてきているのか？距離は？などの問題は少し難しかったようですが、一生懸命